

実施報告

# 猿払村立鬼志別小学校

\*学級数 9 \*児童数 88

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道浜頓別高等学校	教諭	鈴木智子	化学

## 【本事業のねらい】

小学校第5学年「物の溶け方」の単元において、「物の溶け方とその規則性についての見方や考え方」について、児童が観察・実験などの具体的な体験を通して理解を図るための、教員の指導力向上を目的に実施した。

## 【実施内容】

11月28日15:00~16:30、鬼志別小学校理科室において、14名の教員を対象に、小学校第5学年「物の溶け方」の単元目標と学習内容、指導上の留意事項を確認した後、「物の溶ける様子（単元の導入）」「溶けた物の体積と重さ」「再結晶の観察」の実験を行った。その後、「水溶液の性質」に関わる教材の紹介があり、参加者全員で実験を行った。



簡単ピペットづくり

## 【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・実験の手法を改めて学ぶことができた研修会でした。「物の溶け方」の実験では、傘袋を使い簡単に分かりやすく「シュリーレン現象」を見ることができ驚きました。5年生の担任をしているので、すぐに授業に生かしたいと思います。
  - ・「物の溶け方」では、身近にある傘袋とリングを用いて観察できる方法を教えて頂きました。児童でも失敗なく「物の溶ける様子」について観察でき、“理科って楽しい！”と児童も夢中になれるような実験でした。
- また、「水溶液の性質」では、簡単な教材の準備方法まで教えて頂いたことで、実験器具が不足している状況でも、児童に実験をさせることができそうです。次回の「エネルギーの単元」も楽しみにしています。

## 【次回実施に向けて】

本校教諭へのアンケート調査結果から、指導することが困難との声が多かった「電気の利用」等、エネルギーに関する単元を研修したいと考えている。